

# 【資料5-1】トラック運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト 説明資料

トラック運転者の長時間労働改善に向けた周知用コンテンツやガイドライン等をまとめたポータルサイト

＜ポータルサイト トップ画面のイメージ＞（令和4年2月現在）

## ○主なコンテンツ

### 企業向け

荷主企業とトラック運送事業者の双方に向けた、トラック運転者の労働時間の改善を進めるための対応策や有用な好事例等のコンテンツを提供。

荷主企業やトラック運送事業者が貨物運送の現状に関するチェックシートに回答することにより、自社の取り組むべき課題を抽出できるweb診断ツールを令和元年12月19日に追加。診断ツールの回答結果を分析した診断結果レポートを公開し、随時更新。また、本ポータルサイトの広報コンテンツ（ポスター、リーフレット）を令和2年7月21日に追加。

### 国民向け

トラック運転者の仕事を知るための情報や、トラック運転者の長時間労働改善のために「できること」や「やって欲しいこと」に関する情報などを提供。

国民・荷主企業向け周知用動画を令和元年12月19日に追加し、宅配ドライバーの「生の声」を紹介するコンテンツを令和2年3月17日に追加。

### セミナー動画

令和元年度に実施した、トラック運転者の労働時間短縮の進め方のノウハウを広く荷主企業やトラック運送事業者に周知する（1）のセミナーの動画を公開中。

### 「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト（国土交通省）との連携

深刻化する運転者不足に対応し、産業活動等に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的として、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む「ホワイト物流」推進運動についての情報を提供。



# 【資料5-1】トラック運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト 追加コンテンツ①

## ■ 荷主企業・運送事業者向けコンテンツ web診断ツール「簡単自己診断」

「運転時間」「荷扱い時間・付帯作業時間」「待ち時間」の3つの視点から、貨物運送の現状に関するチェックシートに回答することで、トラック運転者の労働時間削減に向けて自社の取り組むべき課題を抽出できるツール。

運送事業者向けページに診断結果の印刷機能を設け、荷主との取引環境改善を支援。

### <STEP 1>

荷主企業向け、運送事業者向けの各ページより、「輸送品目」「診断項目」を選択する

### <STEP 2>

表示された質問に、当てはまるものについてチェック

### <STEP 3>

自己診断結果と、改善のための施策候補の紹介

### <STEP 4> ※運送事業者向けページ

診断結果・施策候補等を印刷可能

✓ 荷主企業の協力が必要な事項や、施策を実施することで、**荷主企業が得られるメリット**を紹介

⇒トラック運送事業者が荷主企業に対して「意見交換・検討する場」の必要性を説明するための材料として活用可能

※令和3年3月9日現在の「簡単自己診断」実施件数 1284件  
(内訳：荷主560件、運送事業者724件)

The image shows a multi-step web interface for a self-diagnosis tool. It is divided into three main sections: STEP 1, STEP 2, and STEP 3.

**STEP 1: 品目・項目を選択**  
This section allows users to select a business type (e.g., '荷主' - Shipper) and a specific item from a dropdown menu. Below this, there are three checkboxes for selecting diagnosis categories: '運転時間' (Driving Time), '荷扱い時間・付帯作業時間' (Loading/Unloading Time & Ancillary Work Time), and '待ち時間' (Waiting Time). A '簡単自己診断を始める' (Start Simple Self-Diagnosis) button is at the bottom.

**STEP 2: 表示された質問に回答、診断**  
This section displays a list of questions related to the selected category. A table is shown with columns for '番号' (Number), '質問' (Question), and '該当するものにチェック' (Check if applicable). The questions listed are:  
1. 高速道路利用に留まっていますか? (Are you staying on the highway?)  
2. 事業者間で明確なルールが定められていますか? (Are there clear rules established between carriers?)  
3. 高速道路利用OKが30分以上続いたら、高速道路利用OK等していますか? (If highway use continues for 30 minutes or more, do you use highway use OK, etc.?)

**STEP 3: 診断結果と施策候補のご紹介**  
This section displays the results of the diagnosis. It includes a heading '運転時間に関わる自己診断 結果' (Self-Diagnosis Results for Driving Time) and a sub-heading '問題を解決する施策の候補を説明します。' (We explain the candidates for measures to solve the problem). It features a section for '【その1】現状の「輸送ネットワーク」について' (About the current 'transport network' status) with a table of questions and answers. The questions are:  
1. すべて一般道の走行ですか? (Is it all driving on general roads?)  
2. 該当するにチェックした場合、潜んでいるかもしれない問題 (When checked, there may be hidden problems) - 一般道の走行の場合、高速道路利用と比較して、トラック運転者の運転時間が長くなります。(In the case of driving on general roads, compared to highway use, the driving time of truck drivers becomes longer.)  
3. その問題を解決する施策候補 例 (Example of measures to solve the problem) - 一般道から高速道路利用への切替え (すでに一部利用している場合は、利用区間の拡充) は、運転時間の削減に結びつきます。(Switching from general roads to highway use (if already partially used, expansion of the usage area)) leads to a reduction in driving time.)  
4. 施策実施による荷主のみなさまのメリット (Benefits for shippers only when measures are implemented) - トラック運転者が高速道路を利用した場合、道路渋滞などによる着荷主への納入遅延の抑制につながります。さらに運送事業者の車両活用可能時間が捻出できることから、車両回転率の向上につながる可能性も秘めています。その結果、1日当たりの納入先数を増加させることができるかもしれません。(When truck drivers use highways, it helps suppress delivery delays to shippers due to traffic jams, etc. Furthermore, since it is possible to free up vehicle usage time for carriers, it is possible to improve vehicle turnover. As a result, it may be possible to increase the number of delivery destinations per day.)  
5. 施策実施に向け荷主のみなさまに協力してもらいたいこと (What we want shippers to cooperate with for implementation of measures) - 高速道路利用は、利用区間の検証と併行して、高速料金の荷主・運送事業者間の負担ルールを検証する必要があります。ぜひ、貴社が高速道路利用を希望する区間を事前に確認し、お話しください。(Highway use requires verification of the usage area and, in parallel, verification of the burden rules for tolls between shippers and carriers. Please confirm the areas you wish to use the highway in advance and talk to us.)

## 【資料5-1】トラック運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト 追加コンテンツ②

### ■ 国民・荷主企業向けの周知用動画 「トラック運転者の「いま」とあなたにできること」



トラック運転者が運転以外にどんな仕事をしているのかという点を軸に据えて、トラック運転者が置かれた実態とその改善に必要な取組を紹介。

- ・動画は、厚生労働省YouTube公式チャンネルに投稿・公開しており、ポータルサイトの動画紹介ページから閲覧することが可能
- ・令和2年9月11日時点の再生回数 7,100回

(参考) ポータルサイトでは、トラック運転者の長時間労働改善に向けた好事例の紹介として、山梨県での平成28年度の実施事例、和歌山県での平成29年度の実施事例の動画もそれぞれ掲載。  
(トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会におけるパイロット事業の取組を紹介)



好事例紹介動画  
山梨県での取組事例

平成28年度に山梨県で実施された事例を取り上げており、一貫パレチゼーションと荷卸しの事前予約制に取り組み、荷役時間や待機時間の短縮に成果を上げています。



好事例紹介動画  
和歌山県での取組事例

平成29年度に和歌山県で実施された、モーダルシフトによる拘束時間の短縮の事例と荷卸しの事前予約制による待機時間の短縮の事例を紹介しています。いずれも成果を上げています。

動画は、厚生労働省YouTube公式チャンネルに投稿・公開しており、ポータルサイトの企業向けページから閲覧することが可能

※ 和歌山県の事例動画は地元TV局が制作したもの

- ・山梨県の事例動画  
令和2年9月11日時点の再生回数 11,300回
- ・和歌山県の事例動画  
令和2年9月11日時点の再生回数 2,200回



## 【資料5-1】トラック運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト 追加コンテンツ

### ■ 発荷主企業・着荷主企業向け周知用動画

トラック運転者の長時間労働改善に向け、荷主・運送事業者が取り組む内容について、平成30年度に策定した「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」における取組の進め方をもとに、荷主・運送事業者が取引環境と長時間労働の改善に向けた取組を実際に始めるに当たり、両者の具体的な交渉過程等をドラマ形式（アニメーション）で再現。

#### 発荷主企業向け動画

(イメージ)



#### 着荷主企業向け動画

(イメージ)



～あらすじ～

ある運送事業者は、トラック運転者の長時間労働の改善に向けた取組について、荷主に協力を依頼するが、断られてしまう。運送事業者は、インターネットで見つけた「トラック運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト」において、「簡単自己診断」を実施。その自己診断結果に記載されている荷主のメリットを参考に、再度、荷主と交渉したところ、その取組によるメリットについて、荷主に納得してもらうことに成功。取組にかかる費用の応分負担について協議した上で、早速、取組を実施することとなった。